

江戸川大学学報

- 目次 -

関係法令	1
学内規程	2
人 事	3
主要行事	7
諸 報	8
決算報告	12

関係法令

【法律】

教育基本法(平成18年法律第120号)
平成18年12月22日交付、施行
学校教育法等の一部を改正する法律(平成19年法律第96号)
平成19年6月27日公布
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律(同第97号)
平成19年6月27日交付
教育職員免許法及び教育公務員特例法の一部を改正する法律(同第98号)
平成19年6月27日公布

【政令】

教育基本法の施行に伴う関係政令の整理に関する政令(平成18年政令第395号)
平成18年12月22日交付、施行
学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備等に関する政令(平成19年政令第55号)
平成19年3月22日交付、同年4月1日施行
学校教育法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法令の整備に関する政令(同第69号)
平成19年3月28日公布、同年4月1日施行

【省令】

専門職大学院設置基準及び学位規則の一部を改正する省令(平成19年文部科学省令第2号)
平成19年3月1日公布、同年4月1日施行
学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う文部科学省関係省令の整備等に関する省令(同第5号)
平成19年3月30日公布、同年4月1日施行
学校保健法施行規則の一部を改正する省令(同第6号)
平成19年3月30日交付、平成19年4月1日施行

大学の設置等の認可の申請及び届出に係る手続等に関する規則及び文部科学省関係構造改革特別区域法施行規則の一部を改正する省令(同第10号)
平成19年3月30日公布、同年4月1日施行
大学設置基準等の一部を改正する省令(同第22号)
平成19年7月31日交付、平成20年4月1日施行
学校保健法施行規則の一部を改正する省令(同第32号)
平成19年10月1日交付、平成20年4月1日施行
学校教育法施行規則の一部を改正する省令(同第38号)
平成19年12月14日交付、平成20年4月1日施行
大学院設置基準の一部を改正する省令(同第39号)
平成19年12月14日交付、施行

【告示】

専門職大学院に関し必要な事項について定める件(平成15年文部科学省告示第53号)の一部を改正する件(平成19年文部科学省告示第31号)
平成19年3月1日公布、同年4月1日施行
学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成15年文部科学省告示第39号)の一部を改正する件(同第32号)
平成19年3月1日公布、同年4月1日施行
学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う文部科学省関係告示の整備等に関する告示(同第46号)
平成19年3月30日公布、同年4月1日施行
平成13年文部科学省告示第51号(大学設置基準第25条第2項の規定に基づき、大学が履修させることができる授業等について定める件)等の一部改正(同114号)
平成20年4月1日施行
大学院設置基準の一部を改正する省令の施行に伴う関係告示の整理に関する告示(同142号)
平成19年12月14日交付、施行

学内規程等

【規程等改正】

学則(19.4.1施行)
 教育組織規程(同施行)
 教授会規程(同施行)
 教授会議事運営に関する申合せ(同施行)
 学科委員会規程(同施行)
 学校法人江戸川学園事務組織規程(同施行)
 事務局組織規程(同施行)
 事務局所管の文書に係る文書記号について(同施行)
 事務局の文書処理簿及び原議書の様式並びに文書名義者及び専決者の制定について(同施行)
 事務局文書保存基準(同施行)
 専任教員海外留学取扱要項(同施行)
 学校法人江戸川学園駒木キャンパス消防計画(同施行)
 電子著作物取扱規程(同施行)
 電子著作物の権利持分の決定と仲介に関する申合せ(同施行)
 駒木キャンパス情報化施策検討部会設置要項(同施行)
 駒木キャンパス事務情報化推進検討部会設置要項(同施行)
 駒木キャンパスにおける情報セキュリティ基本方針(同施行)
 駒木キャンパスにおける情報セキュリティ対策基準(同施行)
 就業規則(同施行)
 教員選考規程(同施行)
 特任教授任用規程(同施行)
 名誉教授称号授与規程(同施行)
 給与規程(同施行)
 教員の初任給・昇任・昇給に伴う俸給決定基準(同施行)
 退職金規程(同施行)
 特別講師招聘に係る謝金支給基準(同施行)
 職員俸給決定基準(同施行)
 専任教員が専門学校からの依頼に基づき授業を担当する場合の給与の取扱いについて(同施行)
 旅費規程(同施行)
 大学における物品購入等の手続について(同施行)
 学生アルバイト時給単価基準(同施行)
 キャリアサポート委員会規程(同施行)
 教育IT化支援検討部会設置要項(同施行)
 聴講生規則(同施行)
 科目等履修生規則(同施行)
 特別聴講生規則(同施行)

クラブハウス・部室使用要項(同施行)
 学生団体規程(同施行)
 江戸川大学の部及び同好会審査要項(同施行)
 後援会会則(同施行)
 個人研究費規程(同施行)
 総合情報図書館規程(同施行)
 図書館運営委員会規程(同施行)
 編入学に関する規則(同施行)
 江戸川短期大学から本学の第3年次に編入学する学生に係る検定料及び入学金の取扱いについて(同施行)
 総合情報図書館利用規程(19.6.13施行)
 学校法人江戸川学園寄附行為(19.9.12施行)

【規程等制定】

育児休業規程(19.4.1施行)
 介護休業規程(同施行)
 運営委員会規程(同施行)
 外部評価調整委員会規程(同施行)
 語学教育研究所規程(同施行)
 情報研究所規程(同施行)
 スポーツビジネス研究所規程(同施行)
 教職課程センター規程(同施行)
 一般教育検討部会設置要項(同施行)
 転入学に関する規則(同施行)
 学士入学に関する規則(同施行)
 再入学に関する規則(同施行)
 奨学金貸与規程(同施行)
 奨学金貸与規程実施細則(同施行)
 大学事務局に置く係の事務分掌について(同施行)
 学生の海外留学支援に対する取扱要領(19.1.17施行)
 ハラスメント防止ガイドライン(19.10.1施行)
 ハラスメント防止規程(同施行)
 学校法人江戸川学園個人情報保護規程(18.10.1施行)

【規程等廃止】

セクシュアル・ハラスメント防止ガイドライン
 セクシュアル・ハラスメント苦情相談体制について

人 事

【平成18年度退職者】

教育職員(18.9.30付)
 対イコミュニケーション 情報文化 小田一郎 助教授
 教育職員(19.3.31付)
 社会 経営社会 大石剛 教授
 対イコミュニケーション マスコミュニケーション 長谷川公一 教授
 " " 天野徹 助教授
 " 情報文化 村田貞雄 教授
 事務職員
 法人事務局総務課長 山本安雄(18.7.12付)
 大学事務局学務課長 高坂久(18.9.30付)
 江戸川大学顧問(学長特別補佐) 奥田昭夫(19.3.31付)
 学務課 佐藤有希(19.9.30付)

【平成19年度採用者】

教育職員(19.4.1付)
 社会 経営社会 北原憲彦 教授
 " " 藤澤研二 教授
 対イコミュニケーション 情報文化 佐賀啓男 教授
 " " 中村雅美 教授
 " " 神部順子 准教授
 " " 廣田有里 准教授
 対イコミュニケーション マスコミュニケーション 林香織 講師
 事務職員(19.10.1付)
 学務課 淵一憲

【平成19年度再任用】

教育職員(19.4.1付)
 社会 ライフサイ 土器屋由紀子 教授

【平成19年度人事異動】

教育職員(19.4.1付)
 委嘱 図書館長 下平武治(任期1年)
 " 教職課程センター長 下平武治(任期2年)
 " 対イコミュニケーション学部情報文化学科長 古里靖彦(任期1年)
 " 情報研究所長 高田正之(任期1年)
 " イクステンションセンター所長 村田貞雄(任期1年)
 昇任 准教授 荒谷大輔
 特任教授 新規 村田貞雄
 " 継続 高山真知子
 職名変更 准教授 中塚みゆき
 " " 平山満紀

" " 松田英子
 " " T.M.Kelly
 " " 高橋克
 " " 土屋薫
 " " 宮崎孝治
 " " 森島済
 " " 田島由佳
 " " 金田正明
 " " 澤井和彦
 " " 保科悦久
 " " 守屋志保
 " " 安田英土
 " " 木内英太
 " " 内藤和明
 " " R.R.Baer
 " " 井上雅子
 " " 詹萍
 " " 城一道子
 " " 遠藤寛一
 " " 海老澤邦江
 配置換 社会 人間心理 福井嗣泰
 " 社会 経営社会 遠藤寛一
 " 対イコミュニケーション マスコミュニケーション 佐藤毅
 " 対イコミュニケーション マスコミュニケーション 下平武治
 " 対イコミュニケーション 情報文化 近藤益世
 " 対イコミュニケーション 情報文化 海老澤邦江
 出向(株)ワトソンホークス(2年間) 小林至
 教育職員(19.8.1付)
 委嘱 教職課程センター次長 宮崎孝治(任期1年8ヶ月)
 教育職員(20.1.1付)
 委嘱 学長 市村佑一(任期4年)
 委嘱 対イコミュニケーション学部長事務取扱 " (任期3ヶ月)
 事務職員(19.4.1付)
 昇任 入試広報課課長補佐 榎崎 浩幹
 職名変更 学務課教務係長 大中 二郎
 配置換 学務課学生係長 坂井 卓行
 " 学務課長 加藤木 巧
 " 学術情報部学術情報係長 飯島 由利子
 " 学務課学生主任 宮川 実樹典
 " 学術情報部 宮崎 顕嗣
 " 入試広報課 橋本 康大

新任教職員紹介

平成19年4月教員6名、平成19年10月事務職員1名が新たに就任しましたので、ご紹介します。

出身地 最終出身校 前職 担当科目 趣味 ひとこと

藤澤 研二 ふじさわ けんじ

社会学部経営社会学科教授

出生地は山梨県ですが、長く千葉県に住んでいます。千葉大学大学院 コンサルタント 生活産業論・マーケティング特論・太極拳(師範)、麵打師(免許皆伝:自蕎麦「蕎味深々(キョウミシンシン)」)、杜氏見習(自酒:「江古乃味介(エコノミスケ)」)*当時見習は研究が過ぎて、現在、製造のみ、消費はドクターストップ中)

大学の先生は、太極拳を教えるよりは難しいものだと言っています。若輩者ですので、よろしくご指導の程お願い申し上げます。

佐賀 啓男 さが ひろお

メディアコミュニケーション学部情報文化学科教授

茨城県 国際基督教大学大学院 独立行政法人メディア教育開発センター教授 情報社会と文化、ネットワーク社会論I・与謝蕪村の俳諧と絵画作品の収集と評論, 音楽(マリア・カラス、ピンク・フロイド中心)

教育メディア研究が専門ですが、実証的研究から哲学的論考まで手がけています。

中村 雅美 なかむら まさみ

メディアコミュニケーション学部情報文化学科教授

石川県金沢市 金沢大学大学院(薬学研究科) 日本経済新聞社編集委員 生命科学と社会、知的財産権 読書、鉄道(乗り回るのが好き) 建築探偵 人間はT字型であるべきと思っています。いろんなことを知っている(Tの横棒) あることについては詳しく知っている(Tの縦棒)。そんな人が育ってほしい。

神部 順子 かんべ じゅんこ

メディアコミュニケーション学部情報文化学科准教授

香川県 お茶の水女子大学大学院 大東文化大学・佐野短期大学非常勤講師 社会統計学、DTP基礎・演習、プレゼンテーション演習 絵葉書・絵本を集めること、楽しいお酒を飲むこと。

これまで非常勤講師が長く、学生さんと十分に関わることができないはがゆさでいっぱいでした。これからは専任として研究を通して得られる最新の知識と、研究を展開する喜びを学生さんと共有したいと思っています。

廣田 有里 ひろた ゆり

メディアコミュニケーション学部情報文化学科准教授

東京都 早稲田大学大学院 NECソフト(株) 情報ネットワークのしくみ、情報ネットワークの活用、情報デザイン論 読書、映画鑑賞、テニス、買い物

昨年まで、IT企業でシステム構築を行っていました。このシステム・インテグレーションの実務経験を生かし、社会で即戦力となる力を伝えることができればと思っています。

林 香織 はやし かがり

メディアコミュニケーション学部マス・コミュニケーション学科講師

東京都 東京経済大学大学院 江戸川大学非常勤講師 マスコミ論、メディアコミュニケーション論、マス法 映画鑑賞・観劇

母校で教員への第一歩を踏み出せた喜び この気持ちを忘れず、大好きな江戸川大学にご恩返しするつもりで、真摯に努力をいたします。

淵 一憲 ふち かずのり

大学事務局学務課

千葉県 関西大学大学院 野球

本学マス・コミュニケーション学科を卒業後関西大学大学院で教育工学を学び、修士論文では本学のヘルプデスクを研究対象として取り上げさせていただきました。縁あって10月から学務課にお世話になることになり、後輩たちのために自らが学んできたことがどう活かせるのかを模索しております。

役職者就任挨拶

平成19年4月・8月、新たに役職者に就任した6名の就任挨拶を紹介します。

総合情報図書館長 下平 武治

短期大学が大学に統合されたこの4月より、前・村田大学図書館長と前・佐藤短期大学図書館長の後を受けて総合情報図書館長に就任することとなった。辞令を受けた今その職責の重さをひしひしと感じるとともに、前館長お二人の管理・運営方法をしっかり受け継いでいきたいと決意を新たにしている。

言うまでもなく図書館は本学における教育・研究を円滑に推進する上で重要な役割を担っている場所であり、学生の学習活動支援の場として重要な場所である。故に基本的な図書館機能の円滑な推進は言うまでもなく、常に新しい学術情報サービスの展開を念頭に置くとともに学生サービスに心掛け、今まで以上に多くの学生が気持ちよく利用できる図書館にしていきたい。

情報文化学科長 古里靖彦

昨年、図らずも本学に教師として勤務することとなった。三十有余年の丸紅の経験を生かして、eビジネスを中心に担当せよとのことであった。そして一年、何とか学究生活も身につけ、学生諸君とも近づきになれ、さあこれからというところで、又、図らずも学科長の大命を拝受した。今回は一瞬躊躇した。私の何十倍のキャリアをお持ちの先生方が大勢いらしたからである。しかし、恐れを知らない性格故、又々お受けすることとなった。学科長は、学科運営の最後の砦である。学科長がミスをすると、まず、学生諸君が困る、先生方が困る、学校も困る。しかしながら、一所懸命やれば学科の先生方を始め学校内外、助けて頂ける方が多数いらっしゃる。各位のご支援、ご鞭撻を心よりお願いする次第である。今年も、多くの一年生が入学し、学科の授業も大層賑やかになった。二年生も成長し、目を輝かしながら毎日のように研究室に来るようになった。充実した日々である。必ず、学生諸君を、右手にパソコン、左手にモバイル、頭脳に国際コミュニケーション能力を備えた、オールマイティーな人材として社会に羽ばたかせんと密かに決意している。

教職課程センター長 下平 武治

平成19年3月16日に文部科学省より教職課程の認可があり、この4月より教職課程センターが設置された。そしてその最初のセンター長の重責を私が担うこととなり責任の重大さを痛感している。

今日教育現場を取り巻く諸問題は山積しており、現場に出て教員の責務を果たすということは容易ではない。しかしその中で敢えて教職の道を選び履修してくる学生にとって、センターは出来る限りの支援をして行きたい。そのひとつを例にあげると夏休みを利用した「教員になるための実力養成講座(仮称)」である。センターに属する先生方のボランティアで、合宿を中心に行う徹底した養成講座である。この他にもいくつかの授業外カリキュラムを用意し、センターの先生方の協力を得て、一人でも多くの学生が教職に就けるよう努力したい。

教師としての使命感や責任感、専門的知識・技能等学生の実践できる資質能力を先生方と協力して確実に保証できるよう努力していきたいと思っている。

エクステンションセンター(現サライセンター)所長 村田貞雄

江戸川大学が柏駅西口近くにエクステンションセンター・柏教室を開いてから、今年で4年目に入ります。これまでに中国語・韓国語などの語学講座がほぼ定着し当初目的とした市民のための生涯学習の窓口として着実に成果をあげてきました。また時には一流の講師陣による物理学講座や、古武道の専門家による講義など話題を呼ぶ企画にも多くの反響がありました。

ところでこの間、江戸川大学を取り巻く環境にもいろいろな変化がありました。つくばエクスプレスの開通により大学キャンパスへの主なアクセスルートが、「流山おおたかの森」駅からのスクールバスに変わりつつあります。大学の体制もこれまでの社会学部1学部4学科から、メディアコミュニケーション学部を加えた2学部5学科に拡充されました。こうした変化に対応するためにエクステンションセンターの今後のあり方を検討すべき時期がきています。

さしあたり今年度中は各学科から選ばれた運営委員の先生方のご協力のもとに、これまで並みの企画を維持するとともに、できれば話題を呼ぶ独自企画をお送りできればと考えています。同時に新たなセンター機能のあり方を検討し、次年度以降の新機軸をできるだけ早い時期に固めたい所存です。

情報研究所長 高田正之

昨年から情報文化学科が独立し、建学以来の「国際化・情報化に強い大学」を支えてきたスタッフが、専門の教育・研究の傍らで、各研究所を通じて全学の教育サポートをする新体制になっています。本年度は新米所長の下、新任教員を二人迎え、引き続き使命を継続してまいります。皆様のご協力をお願いします。

当研究所は、情報リテラシーをはじめとする情報教育の構想、ネットワークや学習管理システムによる教育の情報化といった面で活動してきました。近年は特に学術情報部との連携でエドクラテス等のシステムを活用し、ネットワーク経由のオンデマンド学習や議論の場の形成に注力しております。

なお、研究所の名称が「情報研究所」に短縮されました。呼びやすくなって親しみが増せば幸いです。

教職課程センター次長 宮崎孝治

中等教育の教員を取り巻く環境は大きく変化している。制度面では教育基本法等の主要法規の改正、学校内では薬物乱用の低学年化、そして、社会面では昨今話題の自己中心的な保護者の増加等、対応が急務な課題も多い。

このような変化の時代における教員養成には、学生の多面的な能力の育成が必要不可欠である。教職に対する強い意欲の醸成、生徒の多面的な理解、幅広く知識を学ぶ姿勢、円満な人間関係を構築する人間性、等枚挙にいとまがない。

その実現のため教職課程センターの先生方・近隣の教育機関と協力し、学生の最善の利益を考え支援していきたいと考えている。幸いにも、教員採用状況は団塊の世代の大量退職に伴い劇的に好転している。この好機に学力のみではなく江戸川大学らしい総合的な人間力を持った教員を一人でも多く輩出したいと思っている。

主要日程**【前期】**

- 4月 3日(火) 入学式
- 4月 4日(水) ガイダンス(～7)
- 4月 9日(月) 前期授業開始, 履修登録(～14)
- 4月18日(水) 履修確認(～21)
- 4月29日(日) 江戸川ウオーク
- 6月23日(土) オープンキャンパス
- 7月 9日(月) 前期定期試験時間割発表
- 7月24日(火) 前期補講
- 7月25日(水) 前期定期試験(～31)
- 7月28日(土) オープンキャンパス
- 8月 1日(水) 前期集中講義(～6)
- 8月 5日(日) オープンキャンパス
- 8月13日(月) 学校完全閉鎖(～16)
- 8月22日(水) オープンキャンパス
- 8月23日(木) 前期追試許可者発表
- 8月24日(金) 前期追試(～25)
- 9月 8日(土) オープンキャンパス
- 9月15日(土) 後期集中講義(～26)
- 9月21日(金) 後期授業開始, 履修変更(～28)

【後期】

- 10月 2日(火) 後期履修確認(～4)
- 10月 6日(土) オープンキャンパス
- 11月 2日(金) 学園祭(～3)
- 11月 5日(月) 創立記念日
- 11月 7日(水) 月曜日授業実施
- 12月 1日(土) オープンキャンパス
- 12月20日(木) 卒業論文提出日
- 12月25日(火) 後期補講, 集中講義(～27)
- 12月28日(金) 事務局閉鎖(～1/5)
- 1月 4日(金) 後期補講, 集中講義(～5)
- 1月 7日(月) 授業開始
- 1月15日(火) 月曜日授業実施
- 1月19日(土) 大学入試センター試験(～20)
- 1月23日(水) 後期定期試験(～28)
- 1月30日(水) 後期補講(～2/4)
- 2月15日(金) 優秀論文発表会
- 2月18日(月) 後期追試験許可者発表
- 2月20日(水) 後期追試験(～22)
- 3月 7日(金) 卒業生発表, 卒業式説明会
- 3月15日(土) 卒業式
- 3月16日(日) 卒業記念パーティ

主要行事

【第14回卒業式(大学)】

平成19年3月15日(木)曇り空のもと流山市文化会館にて第14回江戸川大学卒業式が挙行されました。

国歌斉唱の後、人間社会学科110名、マス・コミュニケーション学科128名、環境デザイン学科50名、経営社会学科59名の計347名に学位記が授与されました。



亀山敬子さん

卒業生答辞では、環境デザイン学科の亀山敬子さんは「行き詰ったときに我が子のように助けてくれた先生方に感謝しています。そして後輩にあっては江戸川大学の持ち味を引き出すように積極的に先生方とコミュニケーションを図ってください。」と充実した大学生活の経験を語ってくれました。式後、卒業生は大学に戻り、大勢の在学生に拍手や花束で迎えられました。メモリアルホールにて記念撮影の後、ゼミ別に昼食会となりました。

翌日、卒業記念委員会が主催した卒業記念パーティでは、景品抽選会が行われる等盛会の中、卒業生同士が再会を約束して散会しました。(会場:ロイヤルパークホテル)

【第17回入学式(大学)】

平成19年4月3日(火)小雨が降る中、流山市文化会館にて第17回江戸川大学入学式が挙行されました。



野崎 慎二さん

式は、13時30分から始まり、1年次生社会学部人間心理学科128名、ライフデザイン学科67名、経営社会学科131名、メディアコミュニケーション学部マス・コミュニケーション学科159名、情報文化学科79名の計564名、3年次生人間社会学科5名、マス・コミュニケーション学科8名、環境デザイン学科1名、経営社会学科6名の計20名の入学が許可されました。入学生宣誓はマス・コミュニケーション学科野崎慎二さんが新入生を代表して行いました。

式終了後、14時から学生と父母を対象に大学生活について説明があり、新入生がバスで大学へ移動した後は、父母に後援会について説明がなされました。

大学では、課外活動団体の在学生たちが新入生を出迎え、積極的に勧誘する姿が見られました。

【第21回卒業式(短大)】

平成19年3月19日(月)晴天に恵まれ、第21回江戸川短期大学卒業式が本学映像ホールにて挙行されました。学位記が文化コミュニケーション学科96名に授与されました。



鴨亜由実さん

今回は江戸川短期大学最後の卒業式。卒業生答辞で鴨亜由実さんは「江戸川短期大学、さようなら。」と最後に語りました。卒業生は彼らなりに、江戸川短期大学の最後の卒業生としての自覚をもって式に臨んでいるようでした。式後は、屋外にて記念撮影、卒業研究別に昼食会となりました。

翌日行われた卒業記念パーティでは、卒業生の在学時の学生生活のスライドが上映され、最後は壇上に上がったの校歌斉唱となりました。(会場:東武ホテルレバント東京)



校歌斉唱をする卒業生と教職員

【閉学記念式典(短大)】

江戸川短期大学は平成19年3月31日をもって22年の歴史を閉じることになりました。昭和60年4月に開学して以来、6700人あまりの卒業生を送り出し、我が国の高等教育に貢献してまいりました。しかし現今の社会情勢等の変化に伴いこのままの文科系短期大学では存続が厳しく、鋭意検討した結果江戸川大学における学部学科の増設を機に短期大学を大学に統合し、より発展すべく閉学することになりました。

江戸川短期大学の思い出の品々を展示した「記念学生ホール」を短期大学棟1階に設置し、記念誌「にほどり」を作成し、江戸川短期大学の伝統を記録に収めました。

また、平成19年3月25日(日)には、本学メモリアルホールにて、関係者列席のもと江戸川短期大学閉学記念式典を執り行いました。

諸 報

【市村佑一学部長の学長就任】



市村佑一学長

太田前学長の任期満了に伴い、学長候補者選考委員会で次期学長候補者に選出された市村佑一メディアコミュニケーション学部長が平成19年度第5回教授会(平成19年9月19日開催)において次期学長候補者として承認されました。これを受けて、平成19年度第3回学校法人江戸川学園理事会(平成19年10月3日開催)において、市村佑一同学部長が次期学長として選任され、平成20年1月1日付けにて学長に就任されました。任期は4年で、平成23年12月31日までとなります。

なお、市村佑一学長は、平成20年3月31日までメディアコミュニケーション学部長の職務を兼務します。

～学長就任挨拶～

今年、江戸川大学は創立18年を迎えます。卒業生は5千人を超え、社会の第一線で活躍しています。この間社会は激しく変化しています。大学もそのひとつ、時代を担う学生諸君に何を教授するかが問われています。2学部5学科となった本学の根底にあるのはいうまでもなく「人間としての生き方」です。学生は教師の姿に多くを学びます。それだけに本学における「研究」と「教育」の質をよりいっそう高めていく必要があります。限られた時間のなかでこれらを成就するためには教職員がより一層心を合わせて目標に向かって進む、このことが大切です。そのため「風通しの良い環境づくり」が少しでもできるよう尽力できればと願っています。

【教職課程センターの設置】

本学は平成19年3月に文部科学省より教員免許課程の設置が認められました。取得できる教員免許状は、社会学部全学科及びメディアコミュニケーション学部マス・コミュニケーション学科では中学校教諭一種免許状(社会)及び高等学校教諭一種免許状(公民)、メディアコミュニケーション学部情報文化学科では中学校教諭一種免許状(英語)及び高等学校教諭一種免許状(英語)、高等学校教諭一種免許状(情報)です。

設置に伴い、教職に関わる業務を円滑に行うことを目的とする「教職課程センター」を新設しました。本センターでは教職のカリキュラム運営だけではなく、

自主講座(教職セミナー)の企画運営、近隣教育機関(小学校2校・公民館1館)との連携・協力も実施しています。

【平成17年度自己点検評価報告書について】

大学を取り巻く社会状況は日々変化していますが、そのような状況の中で、平成16年に全ての大学は自己点検・評価を行い、その結果を公表することが学校教育法で規定されました。本学では平成5年に「自己点検・評価委員会」を設置して以来、様々な形で自己点検評価作業を続けており、特に、最近では年に2回実施する「学生による授業評価アンケート」は、その結果が学生の直接的な意見であるため、自己点検の有効な手段として利用しています。

このようなアンケート結果も踏まえて、このたび自己点検・評価委員会では「平成17年度自己点検評価報告書」をまとめました。本報告書は、本学の教育理念を初めとして、教育研究組織、教育課程、学生、職員、管理運営、財務、教育研究環境、社会連携、社会的責務などを項目ごとにまとめたものです。本報告書は、総合情報図書館に備え付けてありますので、是非ともご一読いただきたいと思ひます。

【江戸川ウォーク】

毎年恒例の江戸川ウォーク(第8回)が、平成19年4月29日(日)に行われました。春の暖かい陽気のなか、1年生全員と学長、学部長、学生部長をはじめ1年生基礎ゼミ担当教員を中心とする教職員の約500人が参加しました。



江戸川河川敷を歩く新入生たち

三郷市江戸川河川敷に集合し、江戸川の堤防沿いにゴール地点の柴又寅さん記念館までの約12.5kmを、途中昼食などの休憩をとりながら、基礎ゼミの仲間や担当教員と約3時間かけて歩きました。

参加した学生からは、「友達ができた。」「先生とコミュニケーションがとれた。」「大学生生活の不安がなくなっ

た。」という感想が聞かれました。学生たちは江戸川流域の自然に触れつつ、新しい友人や先生方との親交を深めることができたようです。

【学園祭】

学園祭は「三芽祭」という名称で駒木キャンパスの大学・短大・専門学校3校合同で行われていましたが、短大の閉学に伴い今年度より大学・専門学校2校合同で「駒木祭」と名称を変えて、平成19年11月2日・3日に開催されました。2日には環境デザイン学科・ライフデザイン学科による「グリーンチェーン戦略シンポジウム」が開催され、流山市長を招いて「熱環境調査結果から見たおおたかの森のクールアイランド効果について」のディスカッションを行いました。

また3日の後夜祭には「B-DASH」のライブや後夜祭恒例の打ち上げ花火を開催し、会場は一段と盛り上がりました。今年は「彩華」(さいか)というテーマのもと大学・専門約40団体がいろいろ工夫し出展。両日とも近隣の方々をはじめ、多くの方々に来場していただき、とても賑やかな学園祭になりました。

【第16回全国高校放送コンクール】

全国76の高校からテレビ・ラジオ・アナウンス・朗読部門の4部門にあわせて249作品が寄せられました。

平成19年11月3日に表彰式が行なわれ、同時に審査結果が発表されました。表彰式は各部門の最優秀賞、優秀賞を受賞された高校から代表者を招待し、本学関係教職員が列席のもと行われました。学長から賞状、トロフィーまたはメダルが授与された後、各作品を上映し、各部門の代表審査員が講評を述べ、高校の代表生徒の皆さんにインタビューを行いました。

表彰式の模様及び入賞作品は本学インターネット放送「EDO-TV」で視聴可能です。

最優秀校(者):

テレビ部門 松蔭高等学校 『松蔭症候群』

ラジオ部門 愛知高等学校 『コトバノチカラ』

アナウンス部門 松蔭高等学校 中川栞さん

朗読部門 鹿児島純心女子高等学校 日高聖子さん

【教員研修会の実施】

平成18年10月から12月にかけて、運営委員会の主催により、専任教員を対象とした教員研修会が行われました。今回の研修会では、学科ごとの代表者から所属学科の現状や課題についての報告が行われ、その後の質疑応答においては、学科の特色や学生の指導など

についてより詳しい説明が求められるなど、かなり緊張した空気に包まれることもありましたが、本研修会は今後も引き続き内容を変えながら実施される予定で、本学の教育・研究のあらゆる面における活性化を図ることが期待されます。

【事務職員研修会の実施】

平成18年10月に、本学事務職員を主な対象とした事務職員研修会が行われました。6日間にかけて行われたこの研修会では、本学事務局課長職以上の職員が講演者となり、それぞれの部署の現状と課題を中心に経験談なども交えた30分の講演と10分間の質疑応答及びディスカッションが行われました。聴講した職員は、他部局に関する状況や講演者の様々な実績に裏打ちされた経験談を聞き、普段あまり意識をすることができない所属部局以外の状況について把握することができました。今後の職務に役立てることが期待されます。

【公式Webページリニューアル】

平成19年3月1日(木)から大学公式Webページを全面リニューアルしました。リニューアルにあたっては、単にデザインを刷新するだけでなく、最新の情報をいち早く掲載できるようにCMS(コンテンツ・マネジメント・システム)を導入するなど、更新・管理においても改良を加えました。また、アクセシビリティ、SEO対策などにも配慮し、統一的なテンプレートを利用することによるユーザビリティ向上にも力を入れています。

昨今、ネットワークが進展し利用者が急速に拡大する中、従来とは質的に異なる新しい概念として「Web2.0」というキーワードが注目を集めています。リニューアルにあたっては、こうした時代の流れに沿って、Web2.0の特色を最大限に生かしたサイト構築を目標のひとつに掲げました。これまでのEDO-NETで提供していたEDO-TV(オンデマンド映像配信)、ヒカルの日記(公式ブログ)といった「利用者参加」可能なコンテンツだけでなく、公式Webページの更新情報のRSS配信、Google Mapsのマッシュアップ利用なども盛り込んでおります。また外部ブログパーツなども柔軟にサイト内に埋め込み、Webページの付加価値向上も視野に入れています。

Web2.0時代がもたらす、分散化、オープン化、低コスト化などの変化の中で、大学公式ページとしての情報発信のあり方を今後も検討し、利用者の皆様にとって一層使いやすいWebページの構築に力を入れてまいります。

また在学生、教職員については、Webメール、エドポタ(学内ポータルサイト)、LMS(学習管理システム)といったWebサービスの拡充を進めており、今後ともより利用しやすい環境の整備を続けてまいります。

【総合情報図書館】

1. 総合情報図書館創立10周年記念事業「源氏物語絵を読む」講演会

平成19年11月4日(日)、木内きぬメモリアルホールにおいて、B棟への図書館移設、江戸川短期大学及び江戸川大学総合福祉専門学校図書館との合併から10年経たことを記念して、講演会「源氏物語絵を読む」を開催いたしました。これは、文部科学省私学助成補助金申請時の事業計画の一部としていたものであり、本学が高等教育機関として、地域に貢献していることを示すものでもあります。

当日は、地域住民など約300の方が参集し、盛会裏のうちに終了しました。

2. 図書館返却ポストのA棟設置

平成19年10月より、A棟1階エレベータ前に図書返却ポストを設置しました。図書館開館日の午前11時に、ポストから図書を回収しております。ご利用ください。

【サテライトセンター】

1. 柏教室から流山おおたかの森教室へ

平成19年12月、エクステンションセンターは「サテライトセンター」と名称を変更しました。また、平成20年2月、「江戸川大学柏教室」を「江戸川大学サテライトセンター流山おおたかの森教室」として、つくばエクスプレス線と東武野田線が交差する、流山おおたかの森駅前ビル2階に移設しました。

この新しい教室には、60人用大教室が2室、20人用小教室が2室あり、これまで以上に多様な講座が開講



江戸川大学サテライトセンター流山おおたかの森教室

できそうです。

平成20年2月17日(日)には、流山おおたかの森駅にちなんで、日本野鳥の会会長柳生博氏をお迎えした「移設記念講座『森と暮らす、森に学ぶ』」が開催されます。駅そばの市野谷の森(おおたかの森)には、その名の通り「おおたか」が住んでおり、皆さんも何度かおおたか探鳥に訪れたこともおありでしょう。この機会に是非、柳生氏の講演も楽しんでいただきたいと思います。

2. 2007 冬季公開講座

新しい江戸川大学サテライトセンター流山おおたかの森教室では、平成19年度最後の四半期として、平成20年1月から3月まで「2007 冬季公開講座」を開催します。

語学講座としては、これまでの英会話、中国語会話、韓国語会話の継続講座とともに、韓国語のトラベル会話が新しく開講します。

一般教養講座では、忙しい日常に悩み多い現代人のための「カラーヒーリング」講座、「自律神経調整法」講座、「食と健康」講座などがあります。また、「世界の国立公園の楽しみ方」講座や、「中国・韓国・日本の文化」の比較文化講座なども揃えています。

江戸川大学関係者は、無料で講座に参加することができます。大学受付にパンフレットを備えていますので、通覧の上、興味のある講座を探し出して、ぜひご参加ください。

【太田前学長ご退任】



退任式で花束を贈呈される太田先生

平成10年1月から平成19年12月までの10年間、学長を務められた太田次郎先生が任期満了に伴い退任されることになりました。

太田先生は、この間入試・広報センターやエクステンションセンター(現サテライトセンター)各研究所を設置され、本学の教育研究環境の充実及び大学の地域開放に務められました。また、江戸川短期大学を統合し、江戸川大学を1学部から2学部5学科の新体制を築く等本学の発展に大きく貢献されました。

また、平成15年4月から平成18年3月までの3年間は学校法人江戸川学園の理事長を兼務され、学園の健全な事業経営にも寄与されました。

平成18年度進路状況(大学)

項目		計		人間社会		マス・コミュニケーション		環境デザイン		経営社会	
在籍者数		421		134	91	152	108	64	53	71	65
就職決定者		270		92	60	97	66	32	25	49	44
進学		11		5	3	3	1	3	3	0	0
自営 家事手伝い		9		3	1	3	2	1	1	2	2
アルバイト		12		2	2	9	4	0	0	1	1
公務員志望		8		2	2	1	1	3	3	2	2
その他		25		4	2	8	7	8	6	5	4
未定・不明		12		2	2	7	7	3	3	0	0
休学者		6		2	2	2	1	2	2	0	0
留年		68		22	17	22	19	12	10	12	12
進路決定率		97%	96%	99%	98%	95%	94%	95%	94%	100%	100%

平成19年度入試状況(大学)

社会学部(人間心理学科・ライフデザイン学科・経営社会学科)

入試区分	募集人員	志願者数	合格者数
A O	115	150	109
推薦	75	166	165
一般	80	73	58
センター利用	50	48	37
留学生	0	51	17
合計	320	488	386

メディアコミュニケーション学部(マス・コミュニケーション学科・情報文化学科)

入試区分	募集人員	志願者数	合格者数
A O	80	96	88
推薦	55	101	101
一般	55	64	60
センター利用	40	37	29
留学生	0	38	23
合計	230	336	301

社会学部(人間社会学科・マス・コミュニケーション学科・環境デザイン学科・経営社会学科)

入試区分	募集人員	志願者数	合格者数
3年次編入学	10	32	21

平成18年度進路状況(短大)

項目		計	内 訳	
在籍		96	男 8 女 88	
就職	就職希望	82	男 6 女 76	
	決定	会社内定	63	男 4 女 59
		自営	1	男 1 女 0
		派遣社員・アルバイト 家事手伝い	11	男 0 女 11
		公務員	0	男 0 女 0
	計	75	男 5 女 70	
就職未決定		7	男 1 女 6	
就職せず		4	男 0 女 4	
進学	進学希望	10	男 2 女 8	
	決定	9	男 2 女 7	
	未決定	1	男 0 女 1	
休学		0	男 0 女 0	

学校法人江戸川学園・江戸川大学・江戸川短期大学

平成18年度決算報告

1 平成18年度決算の概要

去る5月24日に開催された評議員会ならびに理事会において、当学園の平成18年度決算(案)が承認されました。つきましては当学園の財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、消費収支計算書を掲示いたします。

平成18年度における江戸川学園の大きな動きとして、まず、江戸川短期大学については平成18年度に学生募集を停止し、平成19年3月で在校生が全員卒業したことから、文部科学省の認可を以て廃止いたしました。施設・設備面では、平成18年度に2学部5学科に改組した江戸川大学において、大学機能の強化・拡充の為、大学研究棟の改修(教員研究室、会議室増設、サテライトスタジオ新設)、大学講義棟の改修(心理学関係実験室新設を中心とした改修)を行いました。また、江戸川女子中学・高等学校においては、新校舎を建築し平成19年4月から教室として使用しています。一方、江戸川大学総合福祉専門学校では、平成19年4月に社会福祉士一般養成施設として「通信課程」「通学課程」を設置、また、児童福祉科の定員増を実施し、その為の新校舎・学生ラウンジを新築いたしました。

この様な活動の中で、平成18年度決算の概要につきまして、消費収支計算書に基づき説明いたします。まず、収入面ですが、収入の大半を占める学生生徒納付金収入につきましては、江戸川大学で37百万円、江戸川女子中学校で14百万円、江戸川学園取手中・高等学校合計で33百万円増加しましたが、学生募集を停止した江戸川短期大学で203百万円大幅減少となり、また、江戸川女子高等学校、江戸川大学総合福祉専門学校でも若干減少したことから、当学園全体では5,280百万円計上、前年度比181百万円の減少となりました。

また補助金収入につきましても、江戸川大学で34百万円増加したものの、江戸川短期大学で61

百万円減少し、学園全体では1,224百万円、前年度比28百万円の減少となりました。

その他の収入については、退職金財団等交付金の大幅増加等から学園全体で前年度比264百万円増加し618百万円を計上しました。その結果、帰属収入全体としては、7,121百万円を計上、前年度比55百万円の増加となっております。

一方、支出面につきましては、人件費が学園全体で前年度比81百万円増加の3,665百万円となりました。退職給与引当金・退職金を除いた、教員・職員人件費だけでみても、江戸川大学・江戸川短期大学で前年度比27百万円、江戸川女子中学・高等学校で前年度比15百万円増加し、また、退職金も前年度比55百万円増加しました。教育研究経費は2,065百万円を計上、前年度比126百万円の増加となっております。詳細をみると、江戸川女子中学・高等学校、江戸川学園取手中・高等学校で大規模修理を実施し修繕費で46百万円、また、江戸川大学では減価償却費が重なり38百万円、それぞれ前年度比増加しました。次に、管理経費は627百万円を計上、前年度比55百万円の増加となりました。以上、人件費、教育研究経費、管理経費、その他の経費を合わせた消費支出合計額は前年度比189百万円増加の6,384百万円となりました。

この結果、帰属収入から消費支出合計額を差し引いた経常収支は738百万円の黒字を計上しましたが、各学校において新校舎等を建築したことにより基本金組入が1,261百万円発生したため、帰属収入から基本金組入を差し引いた消費収入合計額は前年度比894百万円減少の5,861百万円を計上しました。更に、消費収入合計額から消費支出合計額を差し引いた消費収支差額は523百万円の支出超過となりました。以上が平成18年度決算の概要です。

2 財産目録 (平成19年3月31日)

(単位 百万円)

科 目	平成18年度末	
一 資産額		
(一) 基本財産		30,380
1 土地	126,774 m ²	3,928
(校地)	(91,011 m ²)	(3,572)
(その他用地)	(35,763 m ²)	(356)
2 建物	77,428 m ²	15,399
(校舎)	(75,959 m ²)	(15,365)
(その他)	(1,469 m ²)	(34)
3 図書	292,901 冊	963
4 教具・校具・備品	18,653 点	1,055
5 その他		9,035
(二) 運用財産		7,907
1 現金、預金		7,148
(現金 現金手許有高)		(3)
(預金)		(7,145)
2 未収入金		237
3 有価証券		110
4 修学旅行費等預り預金		377
5 その他資産		35
資 産 合 計		38,287
二 負債額		
1 固定負債		671
(1) 退職給与引当金		671
2 流動負債		1,662
(1) 未払金		188
(2) 前受金		1,072
(3) 修学旅行費等預り金		377
(4) その他		25
負 債 合 計		2,333
正 味 資 産		35,954

3 貸借対照表、資金収支計算書、消費収支計算書(平成19年3月31日)

3.1 貸借対照表(江戸川学園全体)

(単位 百万円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	(30,380)	(27,607)	(2,773)
有形固定資産	< 22,358 >	< 21,691 >	< 667 >
土地	3,928	3,741	187
建物	15,399	15,150	249
構築物	623	663	△ 40
建設仮勘定	384	0	384
教育研究用機器備品	958	1,125	△ 167
その他の機器備品	97	75	22
図書	963	932	31
その他	6	5	1
その他の固定資産	< 8,022 >	< 5,916 >	< 2,106 >
借地権	1,011	1,011	0
有価証券	400	0	400
退職給与引当特定預金	320	615	△ 295
減価償却引当特定預金	350	3,550	△ 3,200
退職給与引当特定資産	295	0	295
減価償却引当特定資産	3,200	0	3,200
定期預金	1,610	0	1,610
第2号基本金引当特定資産	775	675	100
その他	61	65	△ 4
流動資産	(7,907)	(9,887)	(△ 1,980)
現金預金	7,148	9,322	△ 2,174
修学旅行費等預り預金	377	380	△ 3
その他	382	185	197
資 産 の 部 合 計	38,287	37,494	793
負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	(671)	(703)	(△ 32)
退職給与引当金	671	703	△ 32
流動負債	(1,662)	(1,574)	(88)
短期借入金	0	0	△ 0
前受金	1,072	1,069	3
修学旅行費等預り金	377	380	△ 3
その他	213	125	88
負 債 の 部 合 計	2,333	2,277	56
基 本 金 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	32,032	30,872	1,160
第2号基本金	775	675	100
第4号基本金	389	389	0
基 本 金 の 部 合 計	33,196	31,936	1,260
消 費 収 支 差 額 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費収入超過額	2,759	3,281	△ 522
消 費 収 支 差 額 の 部 合 計	2,759	3,281	△ 522
負 債 の 部、基 本 金 の 部 および 消 費 収 支 差 額 の 部 合 計			
	38,287	37,494	793

3.2 消費収支決算書要約(江戸川学園全体)

(単位 百万円)

消費収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	5,280	5,280	0
手数料	118	120	△ 2
寄付金	137	176	△ 39
補助金	1,223	1,224	△ 1
資産運用収入	21	33	△ 12
事業収入	151	150	1
雑収入	132	138	△ 6
帰属収入合計	7,062	7,121	△ 59
基本金組入額合計	△ 1,273	△ 1,261	△ 12
消費収入の部合計	5,789	5,860	△ 71
消費支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	3,679	3,665	14
教育研究経費	2,079	2,065	14
管理経費	672	627	45
資産処分差額	4	4	0
徴収不能額	14	14	0
徴収不能引当金繰入額	12	9	3
その他	38	0	38
消費支出の部合計	6,498	6,384	114
当年度消費支出超過額	709	524	
前年度繰越消費収入超過額	3,281	3,281	
基本金取崩額	0	1	
翌年度繰越消費収入超過額	2,572	2,758	

3.3 資金収支決算書要約(江戸川学園全体)

(単位 百万円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	5,280	5,280	0
手数料収入	118	120	△ 2
寄付金収入	129	141	△ 12
補助金収入	1,223	1,224	△ 1
資産運用収入	21	33	△ 12
事業収入	151	150	1
雑収入	132	133	△ 1
前受金収入	1,047	1,072	△ 25
その他の収入	217	139	78
資金収入調整勘定	△ 1,218	△ 1,315	97
前年度繰越支払資金	9,322	9,322	
収入の部合計	16,422	16,299	123
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	3,696	3,692	4
教育研究経費支出	1,232	1,209	23
管理経費支出	615	570	45
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	1,357	1,351	6
設備関係支出	204	194	10
資産運用支出	610	2,220	△ 1,610
その他の支出	250	125	125
資金支出調整勘定	△ 130	△ 210	80
次年度繰越支払資金	8,588	7,148	1,440
支出の部合計	16,422	16,299	123

3.4 消費収支決算書要約(江戸川大学)

(単位 百万円)

消費収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	2,158	2,158	0
手数料	25	26	△ 1
寄付金	16	23	△ 7
補助金	295	295	0
資産運用収入	3	6	△ 3
事業収入	15	15	0
雑収入	26	26	0
帰属収入合計	2,538	2,549	△ 11
基本金組入額合計	△ 292	△ 303	11
消費収入の部合計	2,246	2,246	0
消費支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	1,157	1,162	△ 5
教育研究経費	890	887	3
管理経費	243	237	6
徴収不能額	8	8	0
徴収不能引当金繰入額	10	8	2
その他	5	0	5
消費支出の部合計	2,313	2,302	11
当年度消費支出超過額	67	56	
前年度繰越消費収入超過額	895	895	
他部門繰入金支出	16	125	
翌年度繰越消費収入超過額	812	714	

3.5 資金収支決算書要約(江戸川大学)

(単位 百万円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	2,158	2,158	0
手数料収入	25	26	△ 1
寄付金収入	15	22	△ 7
補助金収入	295	295	0
資産運用収入	3	6	△ 3
事業収入	15	15	0
雑収入	26	26	0
前受金収入	483	504	△ 21
その他の収入	48	49	△ 1
資金収入調整勘定	△ 466	△ 482	16
前年度繰越支払資金	2,486	2,486	
収入の部合計	5,088	5,105	△ 17
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,188	1,194	△ 6
教育研究経費支出	607	598	9
管理経費支出	218	211	7
施設関係支出	228	227	1
設備関係支出	108	99	9
資産運用支出	0	800	△ 800
その他の支出	84	80	4
資金支出調整勘定	△ 64	△ 46	18
次年度繰越支払資金	2,719	1,942	777
支出の部合計	5,088	5,105	△ 17

3.6 消費収支決算書要約(江戸川短期大学)

(単位 百万円)

消費収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	109	109	0
手数料	0	0	0
寄付金	39	43	△ 4
補助金	0	0	0
資産運用収入	2	3	△ 1
雑収入	0	0	0
帰属収入合計	150	155	△ 4
基本金組入額合計	△ 12	△ 11	△ 1
消費収入の部合計	138	144	△ 6
消費支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	148	149	△ 1
教育研究経費	134	131	3
管理経費	17	16	1
徴収不能額	0	0	0
その他	5	0	5
消費支出の部合計	304	296	8
当年度消費支出超過額	166	152	
前年度繰越消費収入超過額	576	576	
他部門繰入金収入	0	39	
他部門繰入金支出	1	0	
翌年度繰越消費収入超過額	409	463	

3.7 資金収支決算書要約(江戸川短期大学)

(単位 百万円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	109	109	0
手数料収入	0	0	0
寄付金収入	39	42	△ 3
補助金収入	0	0	0
資産運用収入	2	3	△ 1
雑収入	0	0	0
その他の収入	0	0	0
資金収入調整勘定	△ 2	△ 3	1
前年度繰越支払資金	1,103	1,103	
収入の部合計	1,251	1,254	△ 3
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	126	126	0
教育研究経費支出	59	56	3
管理経費支出	13	12	1
施設関係支出	67	67	0
設備関係支出	10	10	0
資産運用支出	509	509	0
その他の支出	25	16	9
資金支出調整勘定	△ 4	△ 69	65
次年度繰越支払資金	446	527	△ 81
支出の部合計	1,251	1,254	△ 3

学校法人江戸川学園法人事務局

江戸川大学学報第22号

平成20年1月1日発行

編集・発行 江戸川大学事務局総務課

〒270-0198 千葉県流山市駒木474 TEL.04-7152-0661(代)

第24回土光杯全日本学生弁論大会(H20.1.12)で本学3年生の加納枝里子さんは携帯電話を使用したいじめ問題に言及し、優秀賞「ニッポン放送杯」に輝きました。何かに打ち込んでいる学生さんの姿を見るのは楽しくて、キャンパスにそんな姿を見かけると応援したくなります。I.K